

沿革の概要

明治 9年 12月 19日	麻布宮村町7番地に第2大區第2中學校區第27番「公立小學南山學校」と称し開校
昭和 2年 10月 22日	麻布宮村町67番地に鉄筋校舎落成移転
昭和 19年 8月 18日	戦時學童疎開を行い、翌年10月復帰
昭和 21年 1月 20日	給食開始
昭和 22年 4月 1日	「東京都港区立南山小学校」と校名変更 新制中学校発足により高等科廃止 新校歌を制定(小林操 作詞 岩波 太郎 作曲)
昭和 53年 12月 9日	新校舎落成式典挙行
昭和 61年 6月 10日	プール全面改築完成
昭和 61年 11月 15日	体育館・校庭等全面改築工事完了
平成 3年 8月 31日	校舎外壁塗装工事完了
平成 8年 11月 30日	開校120周年記念式典挙行
平成 15年 11月 21日	港区教育委員会研究奨励校発表会 学力を高める教育活動の工夫
平成 18年 3月 24日	屋上緑化工事完了
平成 18年 10月 28日	開校130周年記念式典挙行
平成 20年 1月 25日	港区教育委員会研究奨励校発表会 一人ひとりの考える力を伸ばす指導の工夫
平成 24年 11月 2日	港区教育委員会研究奨励校研究発表会 相手を大切に、思いや考えを認め、高め合う児童の育成
平成 28年 11月 19日	開校140周年記念式典挙行
平成 30年 2月 9日	港区教育委員会研究パイロット園・校研究発表会 育ちと学びをつなぐ幼小連携カリキュラムの工夫
令和 3年 9月 13日	校舎外壁塗装工事・給排水工事完了
令和 3年 11月 20日	開校145周年記念児童集会開催
令和 4年 4月 1日	令和4・5年度 港区教育委員会研究奨励校指定
令和 6年 2月 9日	令和4-5年度港区教育委員会研究奨励校研究発表会
令和 7年 3月 24日	第145回卒業式挙行 卒業生数(累計) 15,132名

生活時程

	月	火	水	木	金	土		
8:00	開門(8:00)						8:00	
8:15~8:20	登校時間(8:15~8:20)						8:15~8:20	
8:25~8:40	朝会	計算	安全音楽 集会学級	漢字	読書 読み聞かせ (百人一首)	①	8:30~9:15	
8:45~9:30	①	①	①	①	①	②	9:20~10:05	
9:35~10:20	②	②	②	②	②	中休み	10:05~10:20	
10:20~10:40	中休み 20分						③	10:20~11:05
10:40~11:25	③	③	③	③	③	完全下校	11:20	
11:30~12:15	④	④	④	④	④			
12:15~13:00	給食 45分							
13:00~13:20	昼休み 20分							
13:20~13:35	掃除 15分		13:20	掃除 15分				
13:40~14:25	⑤	⑤	14:05	⑤	⑤			
14:30~15:15	⑥	⑥	クラブ 14:20	⑥	⑥			
14:40~15:25	委員会 完全下校 チャレンジタイム 14:25							
~15:45	完全下校 15:45							

教職員構成

職種	校長	副校長	主幹・主任・教諭	養護教諭	事務	栄養士	都費・区費調師	特別支援教室 専門員	English Support Teacher	Native Teacher	サイエンス アシスタント	スクール サポート スタッフ	スクール ソーシャル ワーカー	スクール ソーシャル ワーカー	用務主事	図書館司書・支援員	スペシャル ニーズ アシスタント	事務補助	校医・薬剤師	計
人数	1	1	17	1	1	1	12	1	7	2	1	1	2	1	4	4	3	1	5	66名

児童数・学級数

(令和7年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数	51	44	52	46	54	55	302

年間行事予定

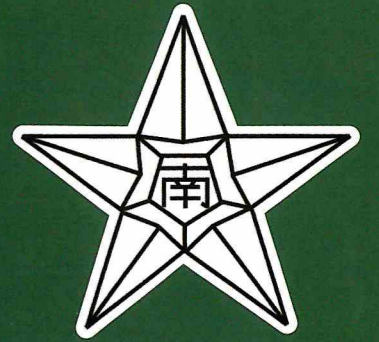
月	行 事	
4	始業式・入学式、交通安全教室(1年) 健康診断(〜6月)、全国学力調査(6年)	保護者会 地域訪問
5	租税教室(6年) 運動会	幼小小合同研修会 通学路点検
6	投げ方教室、体力テスト 水泳教室(〜8月)、社会科見学(3年)	道徳授業地区公開講座 学校公開
7	終業式、夏季休業 移動教室(6年)、夏季学園(5年)	個人面談
8	夏季休業、夏季学園	
9	始業式、歩行者シミュレータ(3年) 風呂敷体験(5年)、自転車シミュレータ(2年・4年) 社会科見学(6年)(5年)	保護者会
10	区連合運動会(6年) 開校記念日	学校公開、学校説明会
11	江戸小紋体験(4年) 社会科見学(4年)	就学時検診
12	音楽会 終業式、冬季休業 音楽鑑賞教室(5年)	個人面談
1	冬季休業、始業式 書初め会、書初め展	
2	漢字検定、起震車体験(3年)、6年生を送る会	新1年生保護者会
3	震災を忘れない朝会 卒業式、修了式、春季休業	保護者会
毎月	生活アンケート、安全指導、避難訓練	

南山小学校アクセスマップ



- ▶ 日比谷線・大江戸線「六本木駅」徒歩7分
- ▶ 南北線・大江戸線「麻布十番駅」徒歩7分
- ▶ 都バス「六本木6丁目」徒歩6分
- ▶ 7-minute walk from "Roppongi Station" Hibiya Line and Oedo Line
- ▶ 7-minute walk from "Azabujuban Station" Namboku Line and Oedo Line
- ▶ 6-minute walk from "Roppongi, 6-Chome" the Capital Bus

令和7年度 学校要覧



麻布の丘に建つ南山小学校

港区立 南山小学校

NANZAN ELEMENTARY SCHOOL

〒106-0046 東京都港区元麻布3-8-15

TEL: 03 (3403) 5773 FAX: 03 (3408) 4532

<http://nanzan-es.minato-ky.ed.jp>



南山小学校 HP



南山小学校 X

校歌

作詞 小林 操
作曲 岩波 太郎

一 麻布の丘に そびえてたてる
校舎をめぐる 木々の若芽の
しじにのびゆく われらが姿
おおすくすくと 伸びゆく姿
楽しく学ぶ われらはここに

二 南の山の 輝く歴史
星の記章の 空すみわたる
はてなき空は われらが心
おおひろびると はてなき心
みつみて励む われらはここに

南山小学校は令和8年度150周年を迎えます



NANZAN ELEMENTARY SCHOOL

港区立南山小学校

〒106-0046 東京都港区元麻布3-8-15
TEL:03 (3403) 5773 FAX:03 (3408) 4532



どの子ども伸びる 学びの南山小

～いかそう みがこう きたえよう 心と体と知識技能～

子ども中心に考え、組織の力で課題解決を図る学校

○子どもたちの笑顔があふれる学校

○保護者・地域が誇れる学校

○教師が伸びる学校

◎目指す学校像

安全・安心な環境の中で、自他を認め合いながら、自己実現できる学校

- 安心して学べる学校
- 元気な明るい声が響く学校
- 多様性を尊重する学校

◎目指す子ども像

自ら学び、考え、判断し、表現できる子ども

- 他者の良さや考えを認められる子
- 主体的に自分の考えを伝えられる子
- たくましい心と体をもった子
- 自ら考え、行動できる子

◎目指す教師像

常に、子どものよりよい将来の姿を見据える教師

- 明るく元気な教師
- 高い専門性を身に付けた教師
- 豊かな人間性を備えた教師
- 人権感覚に優れた教師

徳

友だちとなかよく協力

- 自分を大切に、他者を思いやる心の育成
- 協調性と規範意識の醸成
 - ・全教育活動を通じた道徳教育の充実 (カリキュラム・マネジメント)
 - ・生活指導の充実
 - ・特別活動の充実
- 本物に触れる
 - ・校外学習
 - ・ゲストティーチャー
 - ・南山の森



染物体験教室

知

よく考え最後までやりぬく

- 生きて働く力の確実な定着
 - ・学習指導要領の趣旨徹底
 - ・家庭教育との連携
- 21世紀型考える力の育成
 - ・ICTを活用した相互学習
 - ・SDGsを目指す教育活動
- ◎校内研究の充実
 - ・複線型授業の実践
- 地域から学ぶ



複線型授業

体

じょうぶで明るく

- 運動を愛好し、基本的な生活習慣の確立
 - ・正しい食習慣・食育の充実
 - ・望ましい生活リズムの確立
 - ・体育授業の充実
 - ・体育的活動の充実
 - ・コーディネーショントレーニングの導入
 - ・ボルダリングウォールの活用



ボルダリング

本校の特色を生かして

- ESC(English Support Course) 国際理解教育の推進
- ステップ(特別支援教室) 特別支援教育の推進
- 南山幼稚園との連携 保幼小連携教育の推進



保幼小連携教育の推進

個別最適化した教育を通して、一人一人の個性の伸長を図りながら、身に付けさせたい力

- ◎コミュニケーション力
- ◎自ら課題を見付け、よりよく解決する力(生きる力)
- ◎情報活用能力
- ◎主体的に社会に貢献する力

学校・家庭・地域の教育力の結集

- ☆学校の情報を発信
- ☆学校と家庭との信頼関係の構築
- ☆地域の教育力の活用

思考力・判断力・表現力を育む授業づくり

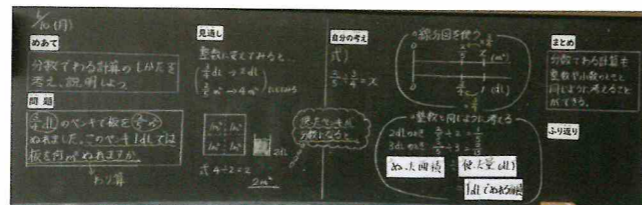
全学年・全学級で5つの style を実施し、「考え」「広げ」「深める」授業づくりを行います。

Nanzan style

style1 学習の進め方

- つかむ (課題把握)**
学習のめあてを理解し、学習の見通しを立てる。
- 考える (自力解決)**
資料を見たり、調べたりして、自分の考えをもつ。
- 広げる (検討)**
クラスの人々と学び合う。
- まとめる (評価)**
分かったことをまとめる、考えの変容に気付く。

style2 板書



めあて→問題→やり方→相互交流→まとめ
45分間の思考の過程が分かる板書計画を立てて子どもの「考える」「広げる」をうながす。

style3 相互交流

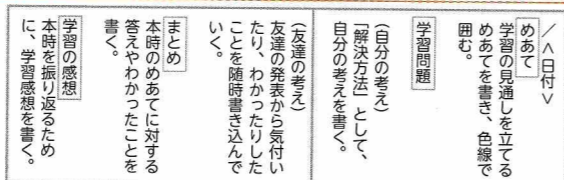
- Style A**
考えたことをさっとペアで話し合うことで短時間で考えを交流することができる。
- Style B**
様々な考えを伝え合うことで自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- Style C**
個人やグループの考えを全体に広げることで学びを共有することができる。



ペア グループ 全体

style4 ノート

見開き2ページを基本とし、「問題解決の過程や学習の振り返り」がわかるようにする。
枠囲みや筆算など線を引くときは定規を使う。
色分けは赤、青鉛筆を使う。



style5 学習のルール

学習ルールの共通化を図り、学習規律の確立と学習意欲の向上を図る。

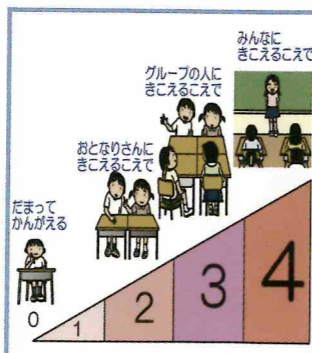
学びのスタンダード

- 学校で**
- 授業の始めと終わりにあいさつをします
 - よい姿勢で座ります
 - 「声のものさし」に合わせた大きさを話します
 - 最後まで静かに話を聴きます
 - 字をていねいに書きます
 - 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします

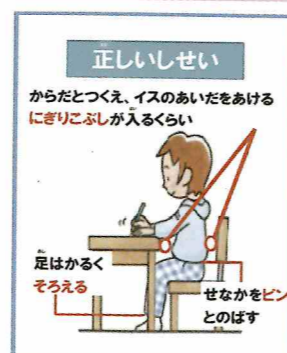
- 家庭で**
- 必要な学習用具は前日までに用意します
 - 宿題や家庭学習に取り組めます

主体的・意欲的に学ぶための学びのスタンダード

声のものさし



正しいしせい



日々の授業、教育活動を通して定着させていくための掲示物

令和7年度 校内研究

研究主題

主体的に学ぶ児童の育成

～複線型授業の実践を通して～

目指す児童像

- ・自分の問いを持ち、主体的に追求しようとする子
- ・様々な人・もの・自然などと積極的にかかわり、自分の考えを広げる子
- ・自分の学びを振り返り、学んだことを自分の生活の中で生かそうとする子

タブレット端末などを用いて友達と交流しながら自分の課題を追求する複線型授業の実践

交流を通して学び合うための工夫

- ・他者参照の工夫
- ・交流を生む、しかけ

一斉指導と個別指導の工夫

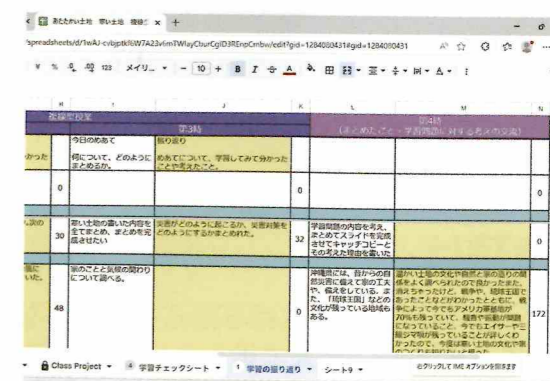
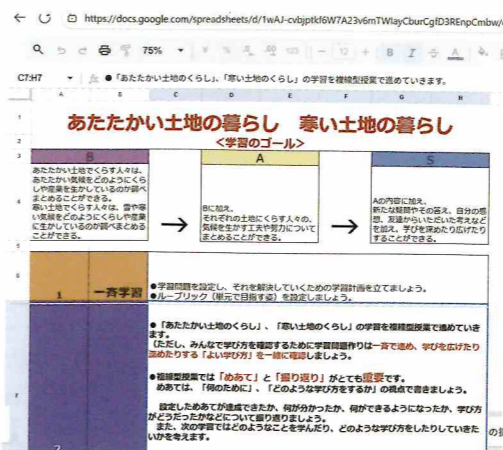
- ・個々の児童の学習状況の把握と支援
- ・資料や学ぶ場の提示
- ・効果的な一斉指導

学習を調整する力をはぐくむ工夫

- ・見通し、自己決定
- ・調べる方法の選択
- ・自己評価

評価の工夫

- ・次の学びにつなげる自己評価（教科学習や学び方について振り返る）
- ・単元の評価基準の作成と児童への提示



スプレッドシートを使った個別の学習や振り返り

保護者に支えられ、地域に認められる学校

様々な価値や個性に触れ、交流を通して
未来をつくる子供たちを育てます。

ESC (English Support Course)

1 ESC (English Support Course) とは……

外国人児童に多様な教育の機会を提供するため、通常の学級に外国人児童を受け入れる ESC (English Support Course) を設置し、ESC の児童に対して英語での授業等を行う学級の事です。

2 対象は……

港区在住の外国人児童（外国籍のみ）で、英語能力を有する児童

- 日本国籍を有する帰国児童や二重国籍児童は、入級できません。
- 入級にあたり英語能力を判定します。英語能力が十分でない場合は、入級できないことがあります。

3 国際学級の特徴は……

- ESC を設置した学級には、日本人児童と外国人児童がともに在籍します。
- ESC には、国際学級講師（EST=English Support Teacher）を配置します。EST は、ESC 児童に対して英語で授業等を行います。
- 日本人児童・外国人児童の双方が、多様な文化や価値観にふれることができます。受入児童数は、1 学年に 10 人以内です。

4 ESC での授業の実施方法とは……

- 2 学級以上になる場合は、1 学級のみ ESC を設置します。（他の学級は日本人児童のみが在籍します。）
- ESC 児童に対して英語で授業等を行う EST を配置します。（EST は学年に 1 人の配置となっています。）

【基本的な学校生活（朝の会、帰りの会、給食など）、社会・理科・生活科（1・2年）・音楽・図工・体育・家庭科（5・6年）の授業】

担任と EST の 2 人の指導で、ESC 児童と日本人児童が同じ教室で学習します。

【国語・算数の授業】

ESC 児童は、日本人児童とは別室で EST により英語で授業を受けます。

5 国際理解教育の推進を目指して……

- ESC は、担任と EST (English Support Teacher) の 2 人体制での指導により、ESC 児童と日本人児童が同じ教室で学習します。事前に担任と授業内容を確認し、要点を押さえて英訳することで、外国籍児童も日本人児童と同時に学びを深めることができます。どちらの児童にとっても多様な文化や価値観にふれる機会となっています。

6 留意事項は……

- ESC は、日本児童が英語を話せるようになることを目的とするものではありません。
- 教育委員会では、児童の適正な就学を確保するため、家庭訪問による本人確認や、賃貸借契約書等の「居住を証明する書類」を確認するなど、居住実態の厳正な確認を行っています。

南山小学校の特色ある教育

学びの南山～ いかそう みがこう きたえよう 心と体と知識技能～

豊かな体験から学ぶ

伝統文化体験・美術館鑑賞 ～感性を磨く～



音楽会 ～個性の表現・伸長～



地域とともに育つ

スーパーマーケット見学 ～麻布十番商店街と共に～



田植え・稲刈り体験 ～地域の施設・資源に学ぶ～



2020 レガシーの継承

車いす・白杖体験 ～共に生きる～



投げ方教室



環境教育・SDGs

南山の森 ～ビオトープ増やそう生き物～



食育・フードロス week ～減らそう食べ残し～



【子供の声】○南山の森にはビオトープがあって、いろいろな生き物がいて楽しいです。春夏秋冬の季節を感じます。○献立が工夫されていて給食が楽しみです。○いろいろな友達の考えを聞いて学ぶので、考えが深まって楽しいです。

【保護者の声】○縦割り班活動で 6 年生が下学年の面倒をよく見てくれます。学年を超えて仲がよいことが嬉しいです。ESC 以外にもいろいろな国の子供たちがいて国際色豊かです。幼稚園が同じ敷地内にあり、交流しながらやさしい心が育っています。